

「2週間の壁」を克服しよう

新型コロナウイルスの感染が急速に拡大していることを受けて、特別措置法に基づく「緊急事態宣言」が今月16日に全国に拡大されてから2週間となります。東京都などにおける新たな感染者数は減少傾向が見られるとはいうものの、決して安心できる状況にはありません。身近な地域でも感染の事例が報道されています。

大型連休となりますが、「今年のゴールデンウィークはステイホーム～ゴールデンウィークはうちで、すごそう～」との呼びかけが行われています。引き続き外出を控えていただくとともに、十分な休養と栄養、こまめな手洗い、毎朝の検温の実施など、感染防止対策を徹底するとともに、日々の健康状態の把握をお願いします。

新型コロナウイルス感染症の感染から発病までの潜伏期間の平均は約5日間、また、発病から診断され報告されるまでには8日程度を要しているといわれています。このため、新たな感染者数として報道され、私たちが知り得ている日々の状況は約「2週間前」の状況だとのこと。「現在の状況は2週間前の投影である」と。

目にしている現実に対して、今の私たちが手を伸ばして働きかけても、すぐに響いて返ってくる反応を直接感じ取ることができないのです。「2週間前」の私たちの行動の成果を確認しながら、「2週間後」の社会がよりよいものになるために、今、見えない敵に対して精一杯対処しているという状態です。時間差があるもどかしさに加え、ウイルス相手に手応えや実感を得にくいのは事実ですが、粘り強く行動していきましょう。その際大切なのは、創造力ではないでしょうか。過去から今に至る変化を読み解きながら、今と未来を結びつけてイメージすることや、ウイルス付着の可能性を考える力などです。「2週間の壁」も創造力を働かせて克服していきましょう。

江戸時代の人々が、江戸から京までの移動に要した日数もおよそ2週間程度といわれています。太陽の光は約8分前に太陽から発せられたものです。経済指標なども含め、今見ているも

のが過去のものというのは、実は身のまわりに多くあるのです。

多くの行事が変更や中止に

とても残念なことですが、この状況下で多くの行事が変更や中止となっています。

全国高等学校体育連盟は26日(日)、本県など北関東を主会場として開催する予定であったインターハイを中止することを決定しました。群馬では総合開会式その他、レスリングなど5つの競技が開催される予定でした。ここを目標に頑張ってきた生徒たちのことを考えるといたたまれません。

インターハイの中止を受けて県高体連では、6月を中心に予定されていたインターハイ予選も中止となりました。5月開催予定であった県高校総体は、すでに中止が決まっていたので、1学期に予定されていた多くの大会が行われないこととなりました。

PTA関係では、以下の行事が中止となっています。

- ・6月5日(金)、6日(土)に予定されていた県高P連総会
- ・7月3日(金)、4日(土)に高崎のGメッセ群馬を会場として予定されていた「第66回関東地区高等学校PTA連合会大会群馬大会」
- ・8月20日(木)、21日(金)に予定されていた「第70回全国高等学校PTA連合会大会島根大会」

※ なお、保護者(会員)の皆様にお集まりいただく従来の形式でのPTA総会については中止し、書面による審議とさせていただきます。つきましては、今後送信又は配付いたします資料に基づき会員各位にご審議いただく予定です。詳細については、決まり次第ご案内させていただきます。

学校行事では、以下の行事は中止します。

- ・強歩遠足、1学期中間考査、対面式
- 残念ですが、よろしく願いいたします。